

アスベスト問題に係る対応状況について

－アスベスト含有調査の最終報告－

1. 調査結果

本学における建築物のアスベスト対応は、昭和 62 年に調査を行い、その段階で「吹き付けアスベスト」については既に必要な対策を講じてきたところであるが、近年、アスベストによる健康被害が深刻化していることを受け、今回新たに「吹き付けロックウール」、「吹き付けひる石」及び「折板裏打ち石綿断熱材」の 3 品目の使用状況について調査を行ってきた。

調査の結果は次のとおりである。

平成 8 年（規制強化）以前に建設された建物	729 棟 89 万㎡
①その内、アスベスト等があるもの	101 棟(2,787 室, 約 85,700 ㎡)
②上記①のうち、室内に露出しているもの	97 棟(2,452 室, 約 64,700 ㎡)

なお、室内の粉塵濃度測定の結果、いずれも大気汚染防止法による基準値（1 リットル中 10 本以下）を大きく下回る値であり、アスベストが飛散し暴露のおそれのある部屋は確認されていない。

2. 今後の対応

(1) 結果は筑波大学のホームページ等により公表するとともに、建物管理者に調査結果を通知する。

(2) 室内に露出しているアスベストへの対応

- ①利用者にアスベストが使われていることを周知し、飛散させることがないように注意喚起する
- ②劣化状況等の点検・維持管理を継続的に行うとともに、状態に変化があった場合に、利用者は速やかに建物管理者に連絡することとする
- ③現時点で粉塵の飛散等による暴露の恐れはないが、将来的に劣化が進行し危険な状態になることを未然に防止するため、改善計画を立て対策工事を進める

(3) 「封じ込め」及び「囲い込み」により既に措置状態にあるアスベストへの対応

- ①, ②上記と同じ
- ③今後の大規模改修にあわせて対策工事を実施する

(4) アスベスト相談窓口の継続設置

今年 8 月設置したアスベスト相談窓口を、当面の間、継続設置して学内外の問い合わせ等に対応する。

以上について、今後も「筑波大学アスベスト対策連絡会」を中心に、適切な対応と円滑な実施を図ることとしたい。

建築物のアスベストに関する相談窓口：施設企画課 尾原、神矢、荏柄 TEL：2272, 2273, 2274
健康に関する相談窓口：保健管理センター 岡 TEL：2041